



東日本大震災に関する 宅地被害アンケート概要報告

東日本大震災に関する宅地被害アンケート概要報告

東北地方太平洋沖地震は、甚大な被害を及ぼしており、被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。NPO 住品協としては東北地方太平洋沖地震宅地調査委員会をスタートさせて地震に対する今後の提案を行っていく予定です。

今回は 2011 年 4 月 28 日から会員の皆様へお願いしておりました住宅地盤の被害のアンケートの結果について取り急ぎ概要をご報告いたします。詳細のご報告につきましては別途行う予定です。

会員の 32%にあたる 164 社から回答をいただきました。そのうち、震災被災地区での調査および工事施工の実績は 60 社から実施ありとの回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

概要は以下の通りでした。

- ① 宅地の被害事例では液状化が最も多く、次いで擁壁変状、造成地のすべり破壊でした。
- ② 地盤調査による震災予測について予測できたのは、液状化 22%、造成地のすべり 6%、擁壁変状 11%と比較的低い割合でした。
- ③ 補強工法による効果については、おおむね補強による効果があったとの結果でした。

工法別で効果があった順番としては、鋼管、柱状改良、表層改良の順番でした。

グラフなどを含んだ概要報告書については NPO 住品協 HP をご覧ください。

住宅地盤の試験・解析・判定規準(案)リリース(再案内) ※ご意見募集中 (2011 年 8 月末まで)

C001-2011「スウェーデン式サウンディング試験装置の性能定期点検(案)」

C002-2011「簡易なサンプリング方法(案)」

T001-2011「電子レンジを用いた土の含水比試験方法(案)」

T002-2011「土の細粒分含有率試験方法(案)」

T003-2011「改良土の室内配合試験(案)」

K001-2011「小規模建築物の圧密沈下計算方法(案)」

H003-2011「小規模建築物の地盤の液状化簡易判定法(案)」

この規準案は、日頃実施しているスウェーデン式サウンディング試験結果からの判断を一步前へ進めるための作業手順や考え方、判定基準を NPO 住品協・地盤評価小委員会でもとめたものです。

みなさまにトライしていただきご意見をいただきながら規準づくりを進めてまいりたいと思っております。

ホームページに規準案を掲載しました。是非、ご覧いただき、ご意見をお寄せ下さい。

NPO 住品協 HP の「住宅地盤の規準(推奨)案 意見募集」をご覧ください。